

M4号館の概要

1. M4号館の大きさなど

研究スペースは2階、3階です。屋上階と1階は排気設備、排水設備等の管理運営用のスペースになっています。(屋上階と1階への立入は出来ません。)

また、各階には測定室、貯蔵庫、一時廃棄庫、洗浄室があり使用開始から後始末まで上下階の移動をしないですむように配置されています。

2. 各階各室の詳細と設置されている機器

【 3階部 】

室名	大きさ (m ²)	主な用途	主な機器など
実験室 (3)	135.9	一般的な実験が出来るよう機器が配置されています。 実験室3の近くに機器分析室もあります。	低速冷却遠心機 クロマトチェンバー (低温室のかわり) 凍結乾燥器 など
実験室 (4)	86.1		低電圧 低容量の電気泳動装置 超遠心機 高速冷却遠心機 ゲル乾燥器 クロマトチェンバー (低温室のかわり) 振とう式エアバス など
機器分析室	41.8		ペプチドシーケンサー ゲルスキャナー (2波長クロマト) ホスファージメジャー (2次元放射線陰影確認装置)
暗室			

【 2階部 】

室名	大きさ (m ²)	主な用途	主な機器など
実験室 (5) 暗室(現像不可) (実験室5内)	65.2	ある程度の量のP-32やS-35を用いた実験、例えば塩基配列決定のためのゲル電気泳動などが出来ます。	PCR装置 大容量の精密安定電源装置 大型のゲル電気泳動装置 大型のゲル乾燥装置 など

室名	大きさ (m ²)	主な用途	主な機器など
P I 細菌実験室 (実験室 5 内)	24.7	R I を用いた P I レベルの微生物実験 (主に、大腸菌を宿主とした組換え DNA) が出来ます。 具体例として、c DNA ライブラリーの作成のような実験が考えられます。	ふらん器
培養実験室	74.0	細胞に R I をラベルする培養実験が出来ます。 また、ハーベスターもこの室内に設置されています。	炭酸ガス培養器 クリーンベンチ 安全キャビネット
P 2 培養実験室 (培養実験室内)	13.8	R I を用いた P 2 レベルの細胞培養の実験が (主に、組換え DNA 実験) が出来ます。 一例としては、組換え DNA を導入した培養細胞を R I でメタボリック・ラベルするような実験があります	炭酸ガス培養器 安全キャビネット オートクレーブ など
現像室			自動現像器 など
動物実験関係室	90.6	動物(マウス、ラット等の小動物)に R I を投与し、各臓器の R I の分布を調べることが出来ます。 動物関係の実験は、ケージの洗浄も含め、すべてこの中で行なうこととなります。	動物飼育装置 全身・組織オートラジオグラフィ (クライオスタット) マイクローム など